



大東市では、企業と大学の
連携研究を支援しています！

大東市中小企業技術開発支援補助金

■ 研究開発

<対象経費> 次の事項のいずれかに該当するもの。

- ① 大学や公的機関に対して技術開発を目的とした分析および試験の依頼または研究委託に要した経費。
- ② 大学や公的機関の研究用機器を使用するのに要した経費。

補助額

最大30万円(経費の1/2)

連携研究以外に、大東市のマスコットキャラクター「ダイトン」を活用し、普及させるための製品開発経費の補助もあります。(補助額 最大10万円(経費の1/2))

大東市 産業・文化部 産業経済室

TEL 072-870-4013 MAIL sangyo@city.daito.lg.jp

FAX 072-870-9608

補助金の詳細はこちら



研究シーズの一例（大阪産業大学）



情報デザイン学部
情報システム学科
伊藤 一也 教授

3Dプリンタによる部品設計開発とドローン用駆動システム制御を用いた 高速AI模型車両設計開発手法の研究

将来のIOT(INTERNET OF THINGS)に資する組み込みシステムの強化学習アルゴリズムの効率化および高速化を実現するために、3Dプリンタとドローン用駆動システム(ブラシレスモータ、コントロール回路)の制御と強化学習を行うシステムを全て内製し、ミニ四駆AI大会(日本知能情報ファジィ学会)やルール無用JCJCタイムアタック((株)ダウンゴニコニコ超会議)で実践を兼ねて実験中。また、出前講義で自動車工学に基づいた理論解説と実験によるデモンストレーションを実践。

- ◆3D CADソフトウェアによるモデリング、解析
- ◆3Dプリンタ(積層型、光造形型)による部品製作
- ◆電子回路およびプログラムの設計製作
- ◆動作検証



情報デザイン学部
情報システム学科
藤本 雄紀 講師

デジタルものづくりによる社会課題解決と地域活性化

デジタルファブリケーション、機械学習、GIS、VR、WEBサービスなど幅広い先端技術を駆使し、社会課題の解決や新たな価値創造を目指した研究開発に取り組んでいます。特に、地域企業や団体との共同研究に力を入れており、現場の課題を起点とした実践的な研究開発から社会実装まで実施いたします。

- ◆観光VRシステム開発
- ◆海洋ごみ可視化AI開発
- ◆下水道DXの推進
- ◆プログラミング教育教材開発

大阪産業大学では上記以外にも産学官連携を実施することができる研究シーズを公表されています。
※詳しくは右記HPをご確認ください。



■大阪産業大学

連携研究とは

特定の研究テーマに対し、大学や公的研究機関と企業などの外部組織が互いに協力して行う研究活動を指します

